61 01 10 02 02 003

事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和03年01月28日(木)

事務事業	少人数指導事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6132
第２次総合計画 行政分野別 大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり	根拠法令個別計画等	深谷市立小学校アシスタントティーチャー設置要項 深谷市小学校教科支援エキスパート設置規則				
小項目	200001 「生きる力」を育む学校教育の推進						

事業概要	市内市立の各小学校に１名のアシスタントティーチャーを配置し、個に応じた指導の更なる充実を目指すとともに、低学年児童（１・２年生）の生活指導の支援を行うなど、個に応じた指導や基礎学力の定着、学習習慣の育成を図る。
目的 ※何のために	児童の基礎学力の定着・低学年児童の学習習慣育成 小学校から中学校進学時に生じるいじめや不登校の防止
対象 ※誰・何を対象に	小学校低学年（１・２年生）を中心に、小学校児童を対象とする。（アシスタントティーチャー） 小学校高学年（５・６年生）を中心とした小学校児童を対象とする。（教科支援エキスパート）
手段 ※どのように	児童の学習を支援する学校アシスタントティーチャー１名、教科支援エキスパート１名を各小学校に配置する。
成果 ※何を求めるか	配置校の活用満足度１００％を目指し、指導・支援を充実させる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	02	小学校費	02	教育振興費	少人数指導事業	31,295,360
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ ＡＴ、教科支援エキスパートの配置	・
・ ＡＴ、教科支援エキスパートの指導技術向上のための研修会実施	・
・	・
・	・
・	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			アシスタントティーチャー配置 教科支援エキスパート配置	アシスタントティーチャー配置 教科支援エキスパート配置	アシスタントティーチャー配置 教科支援エキスパート配置	アシスタントティーチャー配置 教科支援エキスパート配置	アシスタントティーチャーの配置 教科支援エキスパートの配置	
事業費	予算（現額）		31,319,000	31,319,000	31,488,000	33,235,000	33,275,000	
	決算額		30,062,920	31,299,040	31,295,360	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	30,062,920	31,299,040	31,295,360	33,235,000	33,275,000	
人件費	従事職員数(人)		0.21	0.21	0.31	0.53	0.53	
	人件費相当試算 ※１		1,633,590	1,634,220	2,436,910	4,318,440	4,318,440	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			31,696,510	32,933,260	33,732,270	37,553,440	37,593,440	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		目標値 / 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	ＡＴ配置人数		目標値	人	19.00	19.00	19.00	19.00	19.00	19.00	□
				実績値		19.00	19.00	19.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			全小学校１９校の設置を目標値と設定する							
		配置人数										
□	活動指標２	教科支援エキスパートの配置校数		目標値	校	19.00	19.00	19.00	19.00	19.00	19.00	□
				実績値		19.00	19.00	19.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			全小学校１９校に配置する。							
		配置校数										
■	成果指標１	小学１・２年生の授業でＡＴが実施した授業割合		目標値	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	□
				実績値		86.40	84.80	89.50	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			設置要綱により小学校低学年の指導を中心とするため目標値を８０％と設定する							
		ＡＴ実施時間／総授業時間										
■	成果指標２	教科支援エキスパートの授業予定にかかる実施した時数の割合		目標値	%	85.00	85.00	85.00	0.00	0.00	0.00	□
				実績値		88.60	87.40	85.20	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠			小学校高学年の指導を中心とするため目標値を８５％と設定する							
		エキスパート指導時間／計画時間										
□				目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
				実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠										
□				目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
				実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠										

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 全小学校にアシスタントティーチャー、教科支援エキスパートを配置できた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 アシスタントティーチャーは、計画通り小１プログレムの対応として、主に低学年の指導に当たることができた。教科支援エキスパートは、知識・技能の習得だけでなく、小中一貫や生徒指導の視点からも指導にあたることができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	課長補佐兼指導主事　　飯塚　健太

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	少人数指導事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導・幼児教育担当	管理番号	6132

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

アシスタントティーチャーによる低学年を中心とした学習支援、基本的生活習慣の定着と教科支援エキスパートによる高学年を中心とした専門性を生かした指導を行った結果、配置校の満足度は高く、今後も現状を維持していきたい。

評価者	学校教育課長　　下条　徹

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

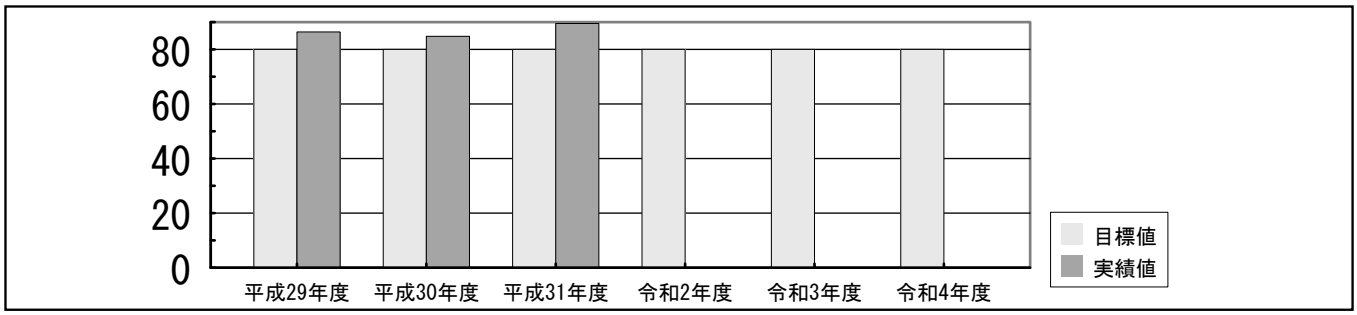
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

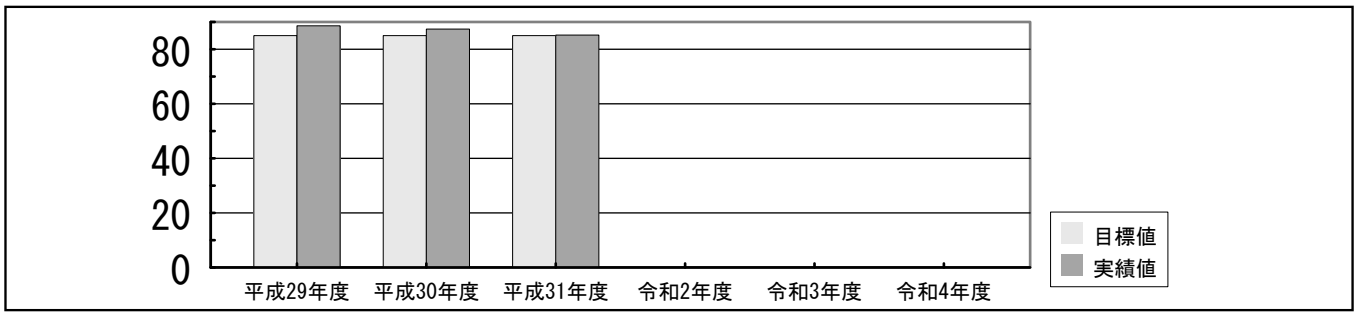
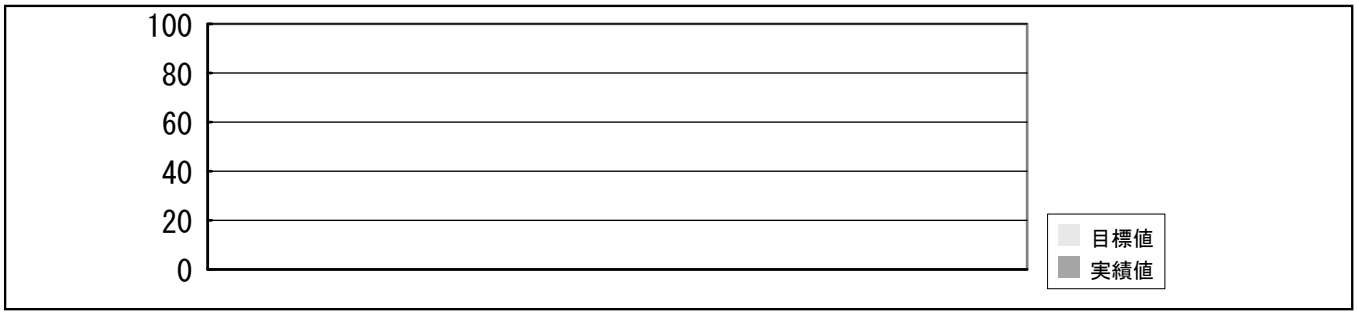
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	小学１・２年生の授業でＡＴが実施した授業割合



区分	成果指標２	指標名	教科支援エキスパートの授業予定にかかる実施した時数の割合



区分		指標名